

ザンビアダイアリー



せかいさいだい じんこうこ
世界最大の人工湖がある『シアボンガ』



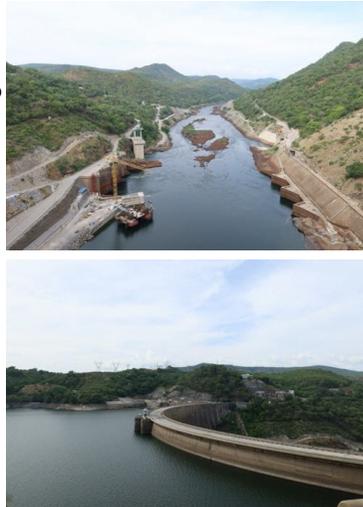
シアボンガはザンビアの南部にある町です。首都のルサカからはバスで約5時間かかりました。左の写真のように、ここには世界最大の人工湖があります。まるで海のような広さで、砂浜が広がっていました。日本は海に囲まれた島国ですが、ザンビアはアフリカ諸国に囲まれた内陸国です。国内にはこうした湖がいくつもあり、ザンビア在住者の憩いの場所になっているようです。

おんせん
温泉がある『カピシャ』



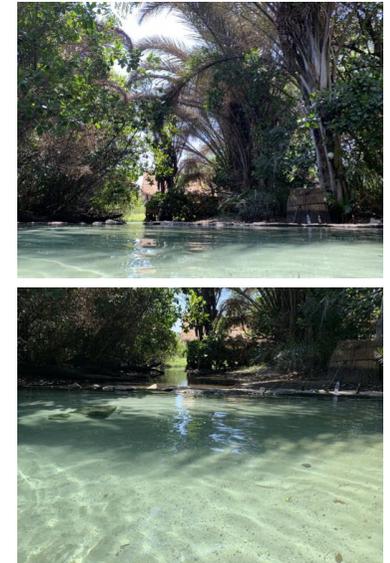
ザンビアの北東部にカピシャは位置しています。首都のルサカからはバスで約12時間かかりました。町から離れた山奥にあり、とても静かで側には小川が流れているような場所でした。今回は、温泉を所有しているロッジに宿泊しました。キャンプサイトも併設しているため、キャンピングカーで旅をしている外国人観光客もたくさん見られました。ロッジのオーナーさんはザンビアのマーケットではあまり見られないような様々な野菜を、従業員の皆さんと栽培していました。

右の写真は、その人工湖に作られたダムです。カリバダムと呼び、ここはジンバブエとの国境でもあります。ここには水力発電所があります。日本のように様々な形態の発電所がないため、水がとても貴重です。降水不足により昨年の6月から始まった計画停電が、9ヶ月経った今も続いています。(2020年3月時点)最近では雨の日が続きます。電気が少しずつ回復してきています。私たちの生活がどれほど水や電気に助けられているか、身をもって感じていると同時に、電気不足生活に適応している自分にもびっくりしています！



その日採れた新鮮な野菜を使った食事を出してくれました。宿泊客と一緒に食卓を囲み、ゲスト同士の交流を大切にしようという思いが感じられました。

右の写真が温泉です。木漏れ日が差し込む林の中にあり、朝から日が沈むまで好きなときにいつでも入浴することができました。日本では数多くの温泉があり、私たち日本人は湯船に浸かる習慣があります。ザンビアではお湯に浸かる習慣はありません。私も、久しぶりに湯船に浸かることができ、日本人だと実感しました。日本に帰国したら温泉に直行したいです！



発行：JICA 海外協力隊 大澤 明浩

2018年7月～2020年7月 チャールズルワンガ初等学校/ モンゼ/ ザンビア共和国

次回は『ザンビアの友人』を紹介します。